

小学校・中学校の臨時休業の実施等を踏まえた 令和3年度中学・高等学校入学試験配慮事項

日本大学第二中学校・高等学校

新型コロナウイルス感染症対策のために学校の臨時休業が長期化したことを受けて、中学入試および高校入試において、次のように対応します。小学校6年生および中学校3年生の皆さんは、内容を確認し、落ち着いて学校の学習活動などに取り組んで下さい。

(1) 推薦入試（高校）

現時点、高校推薦入試は、出願資格・出願書類の提出ならびに入試形態の変更はありません。

中学在学中の諸活動（学外活動を含む）については、各種検定試験（英語検定、漢字検定、実用数学検定、語彙・読解力検定）、運動関係、文化関係、生徒会活動関係において、加点対象となる場合、「実績等を証明する書類等の写し」の提出を出願時にお願いたします。

(2) 一般入試（中学・高校）

学力検査については、小学校6年生および中学3年生の学習内容の遅れに配慮し、1教科当たりの試験時間を40分（中学社会・理科は合わせて40分）といたします。

また、各教科の問題の分量と出題範囲について以下の調整を実施いたします。

【中学】

国語

- ・ドリルと長文1題の大問2題構成に変更いたします(例年は長文2題としていたものを1題減らします)。

算数

- ・例年と比較し、**3**以降の大問を幾つか削減し問題数を減らします。
その分、**1**、**2**の小問群に配点を増やします。

理科

- ・40分（社会と合わせて）で実施します。
- ・大問は例年通り、物理、化学、生物、地学の大問4つを設定し、それぞれの小問を例年より減らします。
- ・試験範囲は、小学校5年生までの範囲で出題します。
- ・出題範囲には時事問題も含まれます。

社会

- ・40分（理科と合わせて）で実施します。
- ・6年生の後半で学習する「我が国の政治の働き」と「グローバル化する世界と日本の役割」（公民分野・おもに教科書6下の内容）については、必須問題ではなく、歴史分野の問題との選択問題として出題します。
- ・出題範囲には時事問題も含まれます。

【高校】

国語

- ・例年のドリルと小説と評論の大問3題構成は変更せず、全体の分量で調節します。
- ・中3の教科書で学習する漢字（国語）を範囲から除外します。

数学

- ・「三平方の定理」、「標本調査」の2単元を試験範囲から除きます。

英語

- ・関係代名詞および同様の働きをもつ接触節を文法問題や作文問題では問いません。また、読解問題等の文章内に出ることもありますが、その箇所が上記の知識がなくても問題を解答できるよう配慮します。

令和2年10月2日追記分

(3) 一般入試（高校）

新型コロナウイルスの感染リスクを低減するため、令和3年度の高校一般入試・面接試験は実施しません。

(4) 一般入試（中学・高校）の試験終了時間

令和3年度入試は1教科当たりの試験時間を40分（中学社会・理科は合わせて40分）としましたので、中学の試験終了時間は11:20分、高校一般入試は11:40分。中・高ともに新型コロナウイルスの感染リスクを低減するため、受験生の受験会場滞在時間を30分短縮します。

令和2年10月16日追記分

○入学試験配慮事項についてのよくある質問とその回答

Q.国語の「ドリル」とは何ですか？

A.例年の大問1に当たる「漢字の書きとり、慣用句、四字熟語など」のことです。

Q.社会の勉強は、歴史分野か公民分野のどちらかをすればよいということでしょうか？

A.そうではありません。本校社会では、時事問題に絡め、歴史・地理・公民の3分野を組み合わせた総合問題を出題しています。あくまでも6年生の後半で学習する「我が国の政治の働き」と「グローバル化する世界と日本の役割」（公民分野・おもに教科書6下の内容）については、必須問題ではなく、歴史分野の問題との選択問題として出題します。

以上